

## 「水桜会だより」 2015 夏号 (表面裏面。全 4 ページ。)

### 水桜会総会 報告

4 月 12 日(日)11 時 30 分~12 時 30 分、学習院大学西 213 教室で、30 名の OBOG の出席をいただいて開催。決算報告、予算案を原案通り承認いただいた。

会長、副会長人事に関して、渡辺正昭会長、高野健副会長の勇退と、作山会長、金澤副会長が承認され、留任の正野副会長とともに、5 年ぶりの新体制がスタートした。

また、水泳部創部 80 周年の記念事業として、本部(事務局)、大学部会、男子部部会、女子部部会を設立するための設立準備委員会を立ち上げ、金澤剛喜 OB を委員長に任命し、今までの大学水泳部 OB 中心の活動から、幅広い活動を目指すことになった。

女子部総合体育館建設に伴い、水桜会としての寄附金に関して、理事会に一任いただいた。総会終了後、「懇親の集い」を引き続き行い、昔話に盛り上がりました。

### 8 月 30 日(日) 五部対抗と懇親会を、大学プールで開催

12:00~15:30、男子部女子部の水泳部や、OBOG のご家族も参加できる楽しい企画もあります。プールサイドで飲食も用意しての懇親会を開催。各世代の交流が期待できます。別紙、案内をご覧ください。万障お繰り合わせの上、ご参加下さい。

### 大学水球チーム

水桜会だより春号にてお知らせのとおり、日本学生選手権水球競技大会(通称インカレ)へ出場を目指し、関東学生リーグに臨みました。結果から言えば、4 勝 4 敗の 2 部リーグ 5 位でリーグ戦を終え、インカレ出場は果たせませんでした。

しかし、大きな収穫もありました。4 年の花島惇が退水誘発王(26 退水誘発)として表彰されました。(表彰されてはいませんが 2 位は 4 年中嶋馨の 24 退水誘発でした。)これは 4 年間の努力の賜物が個人表彰という形で花開いたものです。同列に表彰されているのは軒並み競技歴 10 年以上の選手であり、その中で表彰を勝ち取るのは決して簡単なことではないのは明白です。

次に勝つことが出来なかった 4 校(東大、成蹊、国際武道大、防衛大)との試合について振り返ります。

◇東大、直近 2 年間は 1 勝 1 敗、いずれも 1 点差で勝敗の分かれる試合をしてきたライバル校です。今年も完敗で、3-18 のコールドゲームでした。チームの半数は水球経験者となり、昨年よりさらにフィジカルが強化されていました。相手のフィジカルが勝り敗北となりました。

◇成蹊大学、1 部への昇格経験もある 2 部上位の常連校で、競技歴 10 年以上が 7 人も在籍しています。6-21 のコールド負けでした。当初立て続けに得点しリードしたのは本院でしたが、その後、逆転を許し敗北しました。

◇国際武道大学、1 部から降格してきた強豪校です。11-16 で負けましたが、ピリオドで見

ると 2P,3P は 1 点差、4P では 1 点差で勝っています。

◇防衛大学、昨年 7 位のチーム、今年は水球経験者が 7 人揃いました。5-16 で負けました。本院から 3 人も退水（退場）が出てしまい、巻き返すことができませんでした。

本院は、スターティングメンバー以外（控え GK 除く）は新入生という状況で学生リーグに臨みました。すなわち、一人でも退場または退水の累積が進むと、リスクを取る積極的なプレーが制限されてしまいます。これは学年構成のアンバランスによる影響です（4 年:5 人、3 年:2 人、2 年:1 人）。高等科水泳部との連携により、こういった状況を改善し一貫校としての強みを生かすことが、今後の大学水泳部の発展にも繋がるものと確信しており、本年も高等科水泳部顧問の森本先生のご協力により、高等科生の水球体験会を昨年に続き実施します。日時は 8 月 22 日および 29 日の午前となっております。

また、別紙の通り 9 月 12 日（土）および 13 日（日）に学習院大学プールにて第 3 回チャレンジインカレを開催いたします（別紙参照）。事務局を務めるマネージャーの努力により今年も開催に至ることが出来ました。前記の選手や水球未経験から始めた新入生の活躍が期待されますので、応援よろしくお願いたします。（コーチ 森本龍児）

## 大学競泳チーム

関東学生選手権の結果速報。「男子 2 部 6 位。女子全員出場。」いたしました。

まず、関東学生選手権に至るまでの様子をお知らせします。

1 年生から 4 年生までの男女全員が出場する最初で最後の大会、夏季公認記録会が 6 月 28 日におこなわれ、多くの部員が日頃の練習の成果を十分に発揮し、自己ベストを更新しました。一部のメンバーは 6・7 月の間、各地の大会で記録を伸ばそうと挑戦。やっと 7 月中旬からは、部員全員が大学プールでの練習となりましたが、今年は猛暑のおかげでプール管理にも気を使わねばならぬ状況。それでも、関東学生選手権 1 週間前は意外とリラックスしたムードでした。他校の 50m プールをお借りしたり、二部練習をすることで調整しました。

さて、8 月 1～3 日。目標とする関東学生選手権当日。テーパー期間の落ち着いたムードから一転、緊張感で心臓が破裂するかの雰囲気になったように感じました。ここ数年は男子の最初の種目で勢いに乗り三日間を乗り切ってきましたが、残念なことに出足は不調で、上昇ムードに乗れなかったことがプレーヤーの心理をなお一層ナーバスにさせたことでしょう。しかしながらベストタイムが出たり、コツコツと得点を積み重ねることで選手の雰囲気も好転し始め、なんとか、文頭の結果となりました。

特に、最終日に逆転で 7 位と 1 点差の 6 位入賞を勝ち取ることができたこと。この姿勢は今後の競泳部門のレガシーとなることでしょう。

就活と掛け持ちしながら大会を迎えた 4 年生。さぞかし大変だったと思います。この苦労や経験を今後は社会人として役立ててもらいたいです。そしておつかれさまです。1・2・3 年生はいろいろな教訓や宿題が得られたと思います。これをプラス思考で自分やチームに反映させてください。

最後に諸先輩方、OB・OG の皆様にはチームへ多大な愛情を注いでいただき誠にありがとうございます。今後もしもご声援ご支援ご指導のほどよろしくお願いいたします。（コーチ 清水学）

## 男子部

高等科水泳部は6月6日に筑波大学附属高等学校との定期対抗戦を行い、112対87で見事勝利を収めることができました。今大会は両校ともに非常に高いレベルの中で、接戦を制して競り勝つレースが多くありました。

中でも100m平泳ぎでは主将の竹広幸司郎(3)が貫禄の泳ぎを魅せ1分08秒01で、800mフリーリレーでは橋本(3)、竹広(3)、藤田(2)、平井(2)が泳ぎ、8分23秒03の大会新記録を樹立致しました。この結果は3月24日～28日に行われた合宿の成果を選手達が存分に発揮した結果かと思えます。もちろん、応援に来ていただいたOBの皆様や保護者の方々のお力あつての結果だと心得ております。

しかしながら、目標にしていた2つのリレー杯を勝ち取つての完全優勝は成し遂げられず、惜しくもメドレー杯を僅差ながら譲る形となってしまいました。来年こそはリレー杯を2つ勝ち取り完全優勝を果たすよう努力して参りますので、引き続き水桜会の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い致します。(コーチ 山岡奎太)

## 女子部

平成27年度は、新中一13名を向かえ新シーズンをスタートし、息つく間もなく6月の試合期に入りました。6月6日(土)、高等科附属戦が開催されました。本年度も附属の関東大会、インターハイ出場レベルの部員は健在。三冠を奪われ総合成績でも95対104で敗れはしましたが、昨年に引き続き気持ちの入った泳ぎが随所で見られました。一部の三年生はその後の春季大会、都高校にも出場。高い意識で試合に臨む姿勢は後輩に引き継がれたと感じました。

中等科は6月20、21日の総体、7月21、22日の都中学に出場。中三の関口舞花は全中出場を目指し、都中学にて100Baで決勝進出を果たしましたが、惜しくも全国大会には届かず関東大会出場にとどまりました。

7月7日(火)、初の保護者会を開催しました。部活動における指導、育成に対する当方の考えをお伝えしつつ、改めまして部活動内容をご紹介する機会としました今回、平日にも関わらず、高三の保護者の皆様を含め、9割以上の方々にご参加頂きました。低学年のお母様方には顔合せの機会ともなり、終始和やかな会となりました。会の最後に高三の保護者の皆様に、水泳部の6年間について感想を述べて頂きましたが、皆様の思いが込められた貴重なお話を頂戴することができました。ありがとうございました。

高等科は附属戦後に新三役へ部を引き継ぎました。部長 吉村那月、副部長 加藤七奈子、マネージャー 福永彩美の新体制で始動しております。(コーチ 時谷一滋)

## 女子部中等科・高等科 総合体育館建設計画

平成27年度1学期に工事開始予定の総合体育館(1階:プール, 2階:アリーナ)ですが、現在、建設予定地がかつて徳川家下屋敷跡で遺跡が出土され、調査の為着工が遅れることが必然となりました。平成29年度中には完成予定とのこと。国立競技場ではありませんが、かなり難航しているようです。

水桜会としても4月の総会で承認されましたので、建設資金募金運動に協力していきます。

金額に関しては、理事会に一任となりました。

女子部のみでなく学習院に対して水桜会の貢献度を高めたいと考えています。そして、女子・男子ともに新プールを使用できることを大いに期待したいです。

### 大学プール新設運動

内藤政武院長と井上寿一大学長に、新設プール建設の依頼書を提出いたしております。また、耀常務理事には、現在の大学プールに屋根架けする案として、概略施工図面（平面図、立面図）と、見積書（1億5000万円）で提出しました。機会あるごとに、各理事とも、一層のロビー活動を展開いたしております。水桜会会員の皆さまにもお願い申し上げます。

### 訃報 後藤 肇君（昭和31年大学卒業）を偲んで

昭和24年4月から31年3月まで7年間、水泳部に在籍していた後藤君、その間に競泳と水球の練習に多くの時間を共にしました。高等科では自由型を3年やっているが400米でなかなか6分が切れない。遊びに100米背泳を計時してみると1分10秒台のタイムが出ていてバックに転向することになったのを思い出します。

おたがいに第二の人生に入って、私が水桜会長を引き受けました時には彼に副会長として補佐して貰いました。卒業後（61年になります）かれこれ20年余り前までは、折々プールで一緒に泳いだり、ゴルフに行ったり、会食したりしていました。その頃からデジカメを使い始めていたこと、介護に関する資格をとった話、娘さんの医療裁判を独力で勝ち取った話などを思い出します。ゴルフ場やレストランでの後藤君は談論風発そのもの、政治・経済・社会を語る、その半端でない知識にはいつも驚かされていました。

6月20日、作山会長からメールが入りました：「後藤肇さんの娘さん（アメリカ在住）から父は昨年9月に膵臓がんで逝去いたしましたとのメールが届きました」。予期せぬ訃報で、遣る瀬無い喪失感に襲われています。慎んでみ霊の平安を祈ります。

渡辺正直（昭和29年大学卒業）

### 水桜会情報は、桜友会 HP にも掲載されております。

桜友会事務局のご配慮で、「水桜会だより」「大学現役レポート」と「総会議事録」が掲載されております。桜友会 HP⇒(左下の) 輔仁会 OBOG 会⇒運動部⇒水桜会で、開けます。

また、桜友会では、「メールマガジンご購読のご案内」をいたしております。  
桜友会の最新情報をご購読できますので、どうぞ、HP内からお申込みください。

以上